

第3回 学校運営協議会

日時：令和7年12月15日（月）

14:00～16:00

場所：北浜東小学校 2階 特別室

次 第

進行：教務主任

- 1 開会の言葉
- 2 開催要件の確認
- 3 会長挨拶
- 4 校長挨拶
- 5 議長選出
- 6 前回までの会議録等の確認
- 7 報告
 - (1) 令和7年度全国学力学習状況調査結果
 - (2) 前期学校評価の結果と考察
 - (3) 地域ふれあい活動
 - (4) 東っ子のびのび応援隊
 - (5) いじめに関する報告（別紙）
- 8 熟議

子供たちの姿は、学校教育目標（グランドデザイン）に示す理想の姿にどれだけ近づいているか。また、今後、意識して取り組むとよいことは何か。

※ 報告（1）～（5）を受けて
- 9 事務連絡
- 10 閉会の言葉

令和7年度 第2回 北浜東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年5月26日（月）13時30分から15時36分まで
- 2 開催場所 北浜東小学校 特別室
- 3 出席委員 倉橋 芳久、本間 規子、生熊 義憲、今田 栄之助、
久保田 静香、神谷 智里、羽柴 ちひろ
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 中島 利美（校長）、佐野 教代（教頭）、
菅沼 秀明（CS担当教員）、入手 佑香（CSディレクター）
- 6 教育委員会 加藤 大輔（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 入手 佑香（CSディレクター）
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、神谷委員と久保田委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 今年度の学校運営協議会自己目標について
- (2) 授業から見える子供の実態（参観の視点をもとに）
- (3) 支援策の具体化について

11 会議記録

司会の菅沼から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 今年度の自己目標について

議長の指示により、教頭から、本年度の学校運営協議会自己目標について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 自己肯定感を高めるとはどのようなことなのか。また、自己肯定感を高める取り組みへの助言とは何をすればよいのか。（今田委員）
- ・ 東小の子供たちは、自分に自信がない子供が多い。そこで、みんなから褒めてもらったり認めてもらったりすることで、「自分にもいいところはあるんだ」「自分の良いところに自信を持っていいんだ」という気持ちを育みたい。
(教頭)
- ・ 自分の思いや考えを持ち、相手に伝えようとする自己表現力が育つような取り組みをしていく中で、効果的な取り組みを知っていたら教えていただきたい。（教頭）
- ・ 自分を高めたいと思っても、自信が持てないことは誰にでもある。そのため、活動を通じて「できるんだ」「やれるんだ」という認識を持つことが大切になる。（生熊委員）

- ・ 様々な方と関わる中で、自分の思いを表現することで子供たちに自分の考えを伝える力を身に付けてもらいたいという意見が多く聞かれた。自己肯定感を高めるためには、自分に自信を持つことが重要であり、それによって次のステップに進めるのではないか。(倉橋委員)
- ・ 東小の子供たちは、すでに優しい子が多く、他者を思いやる心がしっかり育っていると感じる。他者を思いやる心の育成よりも、自己表現力を重視した項目を目標に掲げた方が、子供たちにとってより重要なテーマとなるのではないか。(倉橋委員)
- ・ 自己表現について、昨年度、子供たちが自分から自己表現する場を設けたりしたことで、少しずつ成果が表れていると思う。今年度はさらに一歩進めてもらいたい。(本間委員)
- ・ いじめが起きることは他者を思いやる心から外れた行為であるため、自己目標の中に他者を思いやる心の育成は含めておいてよいのではないか。
(生熊委員)

(2) 授業から見える子供の実態(参観の視点をもとに)

授業を参観した感想、視点について良い点、改善すべき点について委員からは、以下の発言があった。

- ・ 1年生の子供たちがとても楽しそうで、元気いっぱい活動している様子を見られて嬉しかった。(神谷委員)
- ・ 高学年になると、自分で考え、何をすべきか理解している様子が見られた。先生方の努力も伝わってきた。(神谷委員)
- ・ 体育の授業のティーボールは、点数を取ったり、攻撃を防いだりする競技だったため、友達に対して少し強い口調が気になる場面があった。(神谷委員)
- ・ 新しいことを学ぶ授業では、先生が板書しながら話す場面があり、まとめや考察の時間には、友達同士で話し合ったり、手を挙げて発表したりする場面が見られた。(久保田委員)
- ・ 1年生の国語の授業の終わりに、先生がノートを集める場面では、算数の「なんばんめ」で学習した順序や位置の表し方を応用している様子を見ることができた。(久保田委員)
- ・ 子供たちが非常に積極的に授業に参加していると感じられた。
(羽柴委員)
- ・ 話を聞くことやノートに文字を書くことに集中していた。特に高学年になると、「話し合う」「聞く」「調べる」の切り替えができていた。(羽柴委員)
- ・ 発表している子供たちは、一度でうまく伝えられなかった場合には、伝え方を変え、より伝わるように工夫をしていた。(羽柴委員)
- ・ 5年生の社会科の授業では、各自の個性が表れる新聞を作成していた。子供たちの個性を大切にしようとする思いを感じた。(生熊委員)
- ・ 各先生の指導や雰囲気によって、教室の空気や子供たちの様子が変わることを実感した。(今田委員)

- ・ 何人もの子供が発言していく中で、的確な考えをもつ子供に教師が意図的に発言の機会を与えていた。また、みんなが理解できているかどうか確認していた。先生が子供を指名するのではなく、みんなに声を出させる授業はとても面白いと感じた。(今田委員)
- ・ ノートは丁寧に書かれていたが、背中が丸くなったり、書くときの姿勢が悪かったりする子が気になった。(今田委員)
- ・ 「勉強」「運動」が得意な子、苦手な子もいるため、下を向いてる子や手を挙げない子、発言しない子に声をかけてあげるような授業であってほしい。(今田委員)
- ・ 3年生の授業では、自分の書いたノートを友達と意見交換したり、声の大きさにも気を配ったりすることができていた。(本間委員)
- ・ 図工作品の掲示物には、題名や名前だけでなく、工夫した点や友達の作品に対する感想も書かれていた。図工の授業を通じて自己表現ができていると感じた。(本間委員)
- ・ 物を落とす子供が気になった。(本間委員)
- ・ 授業が始まる前に黙想を行っていた。黙想をすることで、集中して授業に臨むことができていた。気持ちの切り替えにもなり、とても良い取り組みだと思う。(倉橋委員)
- ・ 子供たちが安心して意見が言える雰囲気、どのクラスにも感じられた。(倉橋委員)
- ・ 姿勢が悪い子供が気になった。姿勢が悪いと、集中力が低下したり、視力が悪くなったりすることもある。正しい姿勢で学習することで、疲れにくくなり、集中して勉強を進めることができる。(倉橋委員)
- ・ 発言できる子は積極的に発言していた。一方で、発言できない子は他の子の意見を聞いているだけの状態になってしまっていた。(生熊委員)
- ・ 4年生の理科の授業では、他の子が話した内容を理解し、それを別の子に伝えようとする様子が見られた。先生が指名するのではなく、子供たち自身が自ら進んで説明できるという環境が整っていると感じた。(神谷委員)
- ・ 最近、順位や勝敗をつけない運動会が増えてきていることについて、委員の皆さまの御意見を聞いてみたい。(倉橋委員)
- ・ 順位がなくなることで、実力差に関係なく個人の頑張りを評価することができる。一方で、競争することの大切さや、その感覚を学ぶことも重要だと思う。(神谷委員)
- ・ 失敗や敗北からの学びを次に生かすことで、より強くなり、成長や向上につながる重要な経験になると思う。(久保田委員)
- ・ 順位をつけることで、競争心やモチベーションを高めることができる。(羽柴委員)
- ・ 子供たちに順位付けを理解させることは難しい。それぞれの個性や能力の差があることを伝えることで、子供たちが自分自身の良さや特性を認識して自己肯定感を持てるようになるのではないかと。(生熊委員)

- ・ 順位は付けるべきである。何のために頑張るのかを明確にし、目標意識を持たせることができる。(今田委員)
- ・ 結果だけに焦点を当てるのではなく、目標に向かって努力している過程を褒めることを大事にしている。成長とともに自然と競争心や向上心も育まれる。(本間委員)

(3) 支援策の具体化について

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき、支援策の具体化について説明があり、以下の発言があった。

- ・ 4年生の総合的な学習の時間の中で、お年寄りとの交流は善地にサロンがあり、主にコミュニティセンターで活動していると思う。(倉橋委員)
- ・ 子供たちが、校外学習として地域に出掛け、お年寄りの方と一緒に昔遊びなどの活動を行うことは、サロンの方々も喜んでくれると思う。(倉橋委員)
- ・ 障がいのある方との交流について、天竜厚生会が出張してくれる福祉体験学習がある。(久保田委員)
- ・ 天竜厚生会の福祉体験学習は、車いす体験や白杖の使い方などは教えてもらえるが、障がいを持っている人との関わりは難しい。(教頭)
- ・ 一昨年、義足のパラリンピック選手が講演会をしてくれた。さまざまな活動を通じて活躍しているパラアスリートの方に直接講演していただく方が、子供たちにはより理解しやすいと思う。(神谷委員)

その他報告事項等

司会から、第3回学校運営協議会は、12月15日(月)午後2時から特別室で開催する旨の報告があった。

令和7年度 浜松市立北浜東小学校 グランドデザイン

学習指導要領

- ◇生きる力の育成
 - ◇資質・能力の3つの柱
 - ◇主体的・対話的で深い学び
- 令和の日本型学校教育
- ◇個別最適な学びと協働的な学び

第4次浜松市教育総合計画(前期)(R7～R11)

- ☆基本理念:描く夢や未来の実現
- ☆コンセプト:「主体性」「多様性・包摂性」「信頼・協働」
- すべての人々のウェルビーイングの向上
- 自分らしさを大切にすることも
- 他者と協働し、主体的に行動できることも
- 自己調整しながら、粘り強く取り組むことも

北浜東部中学校区

- ◎夢の実現に向けて挑戦し続ける子
- 知:ともに学び合う子
- 徳:思いやりのある子
- 体:心身ともにたくましい子

児童の実態と課題

「頑張る」「諦める」の2つの傾向があり、得意分野がある。○やみくもに机上学習に取り組める
 △自ら学び・考えることが苦手

児童の育育

向上無限

学校教育目標

目標に向かって 自ら学び続ける子

【知】表現する子

- 知識を整理し、自分なりの表現で相手に思いや考えを伝える。
- 学習中、自分の意見や考え積極的に発表したり話し合ったりしている。(80%)

【徳】自他を認め、大切にすること

- 互いの個性を認め合い、優しく接する。
- 相手の顔を見て、あいさつや返事をする。
- 思いやりや優しさをもち、困難を乗り越えようとする。

【体】心身ともに元気な子

- 日常的に運動し、目標をもって健康な体づくりをする。
- 目標に向かって、しなやかに取り組む。
- 新しいことに挑戦したり、粘り強く取り組むことができる。

表現力・読解力・思考力・協働力
 自己管理能力・社会性・コミュニケーション能力
 基礎学力・読解力・思考力
 学習意欲・学習習慣・学習態度・多様性の理解

【笑楽校】=「学校が楽しい」と笑顔で登校する学校◎

目指す学校像

- 子どもそれぞれのよさが発揮できる学校
- だれもが心身の安全が保障され、安心して生活できる学校
- 子どもの姿で、保護者や地域に信頼される学校

目指す教職員像

- 人間味にあふれ、子どものよさや思いを大切にできる教職員
- 磨き合い支え合う、同僚性をもった教職員

ITの活用事例

- 【知】○自己表現をテーマとした研修
- ICTを活用した授業実践
- 基礎基本の徹底と読書の推進
- 表現の場としての学年団集会

【徳】○心の日の設定 (SGE-SST)

- 縦割り活動・あいさつ運動の推進
- いじめ防止対策の徹底

- 【体】○自己目標設定(短期・長期)と振り返りの時間の設定・充実
- 持久走がんばり週間の充実となわとびカード(通年)の活用
- 「自分の命を守る」多様な訓練の実施

根幹となる発達支援教育の理念

一人一人を大切にしたい指導 誰も取り残さない温かな支援 互いを尊重し合う、様々な価値や多様性の理解

コミュニティ・スクール

○育てたい方の共有 ○地域ふれあい活動の充実 ○「東っ子のびのび応援隊」の拡充

PTA

地域の方々・団体

ボランティア

(図書・読の関かせ・登下校旗振り 等)

各種分野の専門家

(外部講師)

【報告】

- (1) 令和7年度全国学力学習状況調査結果
- (2) 前期学校評価アンケートの結果と考察
- (3) 地域ふれあい活動
- (4) 東っ子のびのび応援隊
- (5) いじめに関する報告

【熟議】

東っ子の姿は、学校教育目標（グランドデザイン）に示す理想の姿にどれだけ近づいているか。また、今後意識して取り組むとよいことは何か。

<協議のねらい>

(1)～(3)の報告と、これまで実際に見ていただいた子供の姿からグランドデザインに示す理想の姿にどの程度近づいているかを考えることを通して、今後意識して取り組むことを明らかにする。また、来年度のグランドデザインをつくるときの参考にする。

<手順>

- ① 報告と実際に見てきた子供の姿をグランドデザインに照らし合わせ、知・徳・体それぞれについて、できていると感じたこと、指導が必要だと感じたことを付箋に書く。
青：できている（信号の進めのイメージ）赤：不十分（信号の止まれのイメージ）
付箋：1つの事柄に1枚
- ② 順番に簡単に説明しながら付箋を台紙に貼る。理由も含め同じ内容の付箋をお持ちの方は、「同じです。」と言って、重ねて貼る。
- ③ 参加者全員が順番に付箋を貼り、見出しを付けてまとめる。
- ④ 今後、学校として意識して取り組むこと、家庭に呼び掛けること、学校運営協議会としてできることを考える。

短い言葉で！



学校教育目標

目標に向かって 自ら学び続ける子

浜松市立北浜東小学校 学校だより 特別編 令和7年10月 全校児童213人

令和7年度 全国学力・学習状況調査 学習状況分析と対策

学習も運動も最も充実する時期になりました。子供たちは、それぞれの目標を掲げながら活力に満ちた学校生活を送っています。

さて、6年生が4月に行った全国学力・学習状況調査の結果が届きました。調査の結果の概要をまとめましたのでお知らせします。



○ 「教科」「児童生徒質問紙」について

全国や県の平均正答率と比較したところ、以下の結果となりました。今回の結果を踏まえるとともに、学習指導要領では、「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「子供一人一人の発達をどのように支援するか」「何が身に付いたか」「実施するために何が必要か」の視点が大切だとされています。

今回の学力調査の分析を以下に示します。子供たちにとって実りある指導ができるよう、今後も授業改善を進めていきます。御家庭でも御支援のほどよろしくお願いします。

< 国語科 >

問題の概要、趣旨 (全体)	正答率 (%)		
	本校 62	静岡県 66	全国 66.8
◎ 特に全国に比べて平均正答率が高い設問			
書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係性に注意したりして、文章の構成を考えることができる。	71.8	64.2	65.5
時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができる。	87.2	81.1	81.2

△ 特に全国に比べて平均正答率が低い設問			
自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。	51.3	71.4	71.8
学年別漢字配当表に記されている漢字を文の中で正しく使うことができる。	61.5	70.2	72.1
目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。	51.3	61.8	61.3

☆ 今後の授業改善策

- ・ 目的意識をもたせて問答する場面を、意図的に設定していく。
- ・ 書き取りを積み重ね、漢字テストで確認したり、習った漢字を日常の中で使用する場面を設定したりする。
- ・ 相手意識や目的意識を明確にした書く活動を意図的に展開していく。

< 算数科 >

問題の概要、趣旨 (全体)	正答率 (%)		
	本校 55	静岡県 57	全国 58.0
◎ 特に全国に比べて平均正答率が高い設問			
伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できる。	59.0	47.3	48.7
「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる。	46.2	39.1	40.9
分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できる。	28.2	20.0	23.0
△ 特に全国に比べて平均正答率が低い設問			
基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できる。	23.1	37.0	37.0
示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができる。	61.5	73.2	74.5
目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。	20.5	28.4	31.0

☆ 今後の授業改善策

- ・ 複数の図形を扱うことを通して、複雑な図形の中から基本図形を見つけ出す場面を同時に設定する。
- ・ 示された情報を正確に読み取ることができるように、問題文や図、表から分かる情報を整理する場を設ける。
- ・ 目的に応じてグラフを使い分ける場面を設定する。

< 理科 >

問題の概要、趣旨 (全体)	正答率 (%)		
	本校 57	静岡県 55	全国 57.1
◎ 特に全国に比べて平均正答率が高い設問			
赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現することができる。	69.2	58.9	60.5
顕微鏡を操作し、適切な像にするための技術が身に付いている。	51.3	46.1	45.6
発芽するために必要な条件について、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することができる。	66.7	59.4	62.0
△ 特に全国に比べて平均正答率が低い設問			
水の結露について、温度によって水の状態が変化するという知識を基に、概念的に理解している。	43.6	54.3	57.5
ヘチマの花のつくりや受粉についての知識が身に付いている。	61.5	62.4	70.7
氷がとけてできた水が海に流れていくことの根拠について、理科で学習したことと関連付けて、知識を概念的に理解している。	56.4	60.5	60.9

☆ 今後の授業改善策

- 基本的な知識は身に付いているが、図と問題文と選択肢を関連付けて考えることに不慣れだったと思われる。様々な問題の形式を経験させることで、文章題に慣れさせていく。
- 複数の植物を取り扱い、共通点や差異点を見出すことで、花のつくりやはたらきを理解できるようにする。
- たくさんある情報の中から、必要なものを取り出すことができるような場面を設定していく。

< 質問紙 >

問題の概要、趣旨	「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の回答率（％）		
	本校	静岡県	全国
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100.0	97.4	97.2
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	89.7	72.8	70.6
学校に行くのは楽しいと思いますか。	92.3	87.6	86.5
5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていましたか。	94.9	84.5	83.4
将来の夢や目標を持っていますか。	87.2	83.9	83.1
読書は好きですか。	53.9	68.1	69.7

☆ 考察と改善点

学校に行くことを楽しいと感じていたり、困ったことがあれば先生に相談できたり、いじめについても真剣に捉えていることが分かり、とてもうれしく思います。

また、本校で力を入れている読書については、全国的にも低い数値になりましたが、引き続き様々なアプローチをしていく必要があります。

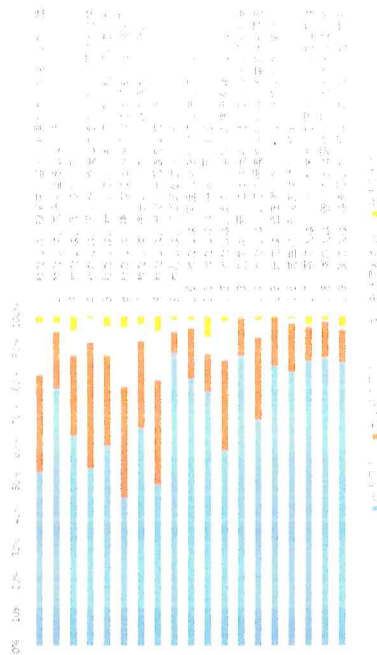
実りの2学期です。最高学年ならではの活動が目白押しです。昨年度に比べ、将来の夢や目標をもつ子の割合が大幅に上昇しました。将来の夢や興味のある職業については、今年度も総合的な学習の時間を通して将来に対するビジョンを広げていきたいと考えています。そして一つ一つの活動を通し、達成感や充実感を積み重ねることで少しずつ自己肯定感が高まるように指導していきます。

これから、小学校卒業とともに、中学校進学に向けて様々な準備が本格化してきます。読書に親しんだり、学習に集中して取り組んだりすることができる環境を整えられるよう、御家庭でも御協力をお願いします。

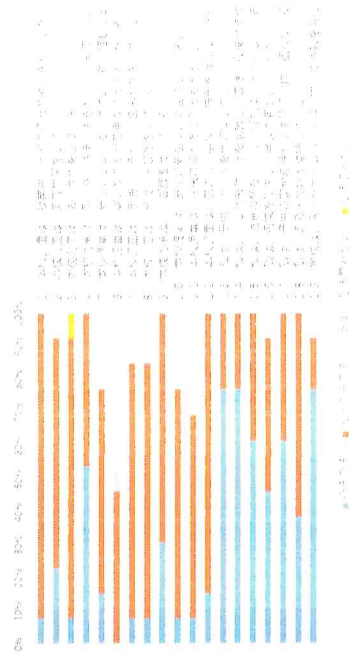
担当 教務主任（菅沼）
電話 586-3319

令和7年度 浜松市立北浜東小学校 前期 学校評価

令和7年度 学校評価 前期 児童・生徒の学びの状況



令和7年度 学校評価 前期 児童・生徒の学びの状況



○ 考察

1について

「自分の思いを自分なりの表現で相手に伝える」という観点で今年度も授業実践に取り組んでいます。今後、積極的に学習する場をさらに設定していくことで、児童が自ら表現することが楽しく感じる学習を展開していきます。

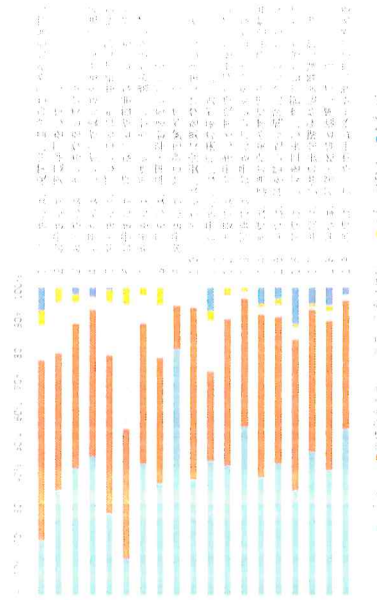
4について

周囲を思いやれる子供たちが増えてきたように感じられます。引き続き、他者の良さに気づき、互いに認め合う取り組みを一層推進します。

5、6について

昨年度の学校運営協議会の中で御意見をいただき、説明を2つに分けさせていただきました。細分化されたことで「話し相手」をさらに確保していく必要があると感じました。今後、助まったり見守ったりして、運営を重視した支援をします。その他、特チャレについて温かい御意見をたくさんいただきました。今年度についても引き続き指導していきたいと思っています。

令和7年度 学校評価 前期 児童・生徒の学びの状況



○ 結果 R6後期の割合 → R7前期の割合

「1 学習中、自分の思いや考えを積極的に発言したり話合ったりしている。目標80%」

児童	80.8%	→	81.9%
保護者	77.7%	→	76.5%
職員	85.7%	→	100%

「4 思いやりや楽しさをもって、周囲の人と接することができる。目標90%」

児童	87.8%	→	91.7%
保護者	93.9%	→	92.6%
職員	100%	→	100%

「5 新しいことにも、意欲的に取り組むことができる。目標80%」

児童	85.4%	→	87.7%
保護者	71.5%	→	77.9%
職員	71.4%	→	76.9%

「6 楽しいことや苦手なことでも、粘り強く取り組むことができる。目標80%」

児童	85.4%	→	78.4%
保護者	71.6%	→	54.4%
職員	71.4%	→	46.2%

【地域ふれあい活動】 今年度の実績

地域ふれあい活動サポートボランティア……………4人 参観者を除く

地域ふれあい活動昔遊び講師……………41人（44人）

地域ふれあい活動しめ縄講師……………47人（40人）

※子供のアンケート結果については、CSだよりNo. 3を参照

<地域の方のアンケート結果より> ☐よい ☒反省 ☐要望

☐子供たちの言葉の中に「楽しい。」という感想があった。地域のスタッフも喜ばしく、楽しい時間を過ごすことができた。

☐子供たちの楽しそうな顔を見て、よい時間をもつことができたと感じた。

☐子供たちの小さな掌で、一生懸命縄をなう姿は、とてもよかった。

☐毎年回数を重ねることで、上達していることが伝わってきた。

☐子供の真剣な目が印象的だった。

☒4種目実施することを考えたが、時間配分が悪く、1種目でせずに終わってしまった。子供たちが悔しいという感想をもらっており、反省した。

☐竹とんぼや紙飛行機を飛ばすために、体育館を使用させてほしい。

☐机等の準備がスムーズにできるようにしてほしい。

☐床のブルーシートが滑る。

☐子供たちの荷物置き場を設けてほしい。

（地域からの提案）地域ふれあい活動講師となるしめ縄づくりができる人を増やしておくように事前練習する必要があります。そうすれば、しめ縄づくりを継続することができます。

<職員のアンケート結果より>

・実施に当たり、地域の子供のことを思い、地域が一丸となって準備を進めてくださったことに感謝している。昔遊びでは、短時間でいろいろな遊びができるようにそれぞれの担当が作り方や教え方を考えたり、道具を準備したりして当日に臨んでくださった。そのおかげで、子供たちは、普段遊んだことがないおもちゃを作り、遊ぶ楽しさを知ることができた。

しめ縄づくりでは、稲刈りに始まり、わらを干したり、水で濡らしたり、しめ縄づくりの練習をしたりして準備を整えてくださった。一斉ではなく、少人数で教わることができるのは、講師の方がたくさんいてくださるおかげだ。縄をなうことはとても難しいことだが、寄り添いながら、優しく教えてもらうことができるから、子供たちは難しくても頑張れる。地域ふれあい活動は、現代に欠けている人と人とのふれあいができるすばらしい活動であり、大切にしたい。

・地域の方とのふれあい、日本の伝統文化についてふれるよい機会だ。子供からの意見で、3年間同じ活動ではなく、別の地区の活動もしたいという意見があった。同じ地区に住んでいる方と関わる機会にしてほしいので、難しいとは思いますが、遊びの内容に変化をつけていただけるとなおよいと思う。

・地域の人と関わる場が少なくなっているので、子供たちも教えてもらって嬉しそうだった。

R7 北浜東小 コミュニティ・スクールだより NO.3



12月5日（金）に北浜東小学校を会場として、地域ふれあい活動を実施しました。午前中は、1～3年生が昔遊びを、午後は、4～6年生がしめ縄作りを行いました。各地域の皆様が講師となり、子供たちに遊び方やしめ縄の作り方を教えてくださりました。

昔遊びでは、風車、紙鉄砲、割り箸鉄砲、竹ぼっくり、ブンブンごま、トントン相撲、紙飛行機、どんぐりごま、射的、竹とんぼ、魚釣りなどを体験することができ、子供たちは大いに楽しんでいました。しめ縄作りでは、小グループに分かれて作っていました。「うまくできない。」と諦めそうになる子に優しく励ましていただいたおかげで、何とか形にすることができ、達成感を味わうことができました。

この活動は、地域の方の御協力なくしては成り立ちません。御多用な中、短い時間でできるように話し合い、準備を進めてくださったおかげです。子供たちに貴重なふれあいの機会を与えていただき、ありがとうございました。できれば、来年もよろしくお願いします。

地域ふれあい活動大成功！！（アンケートより） 上：R7 下：R6



子供	1～3年	4～6年
楽しかった どちらかといえば楽しかった	98% 98%	96.9% 95.9%
地域の人と話したり、地域の人に教えてもらったりすることができた どちらかといえばできた	98% 98%	98% 95.5%
来年度も地域の人と関わる活動をしたい どちらかといえばしたい	100% 100%	99% 92.8%

大人	地域の方
楽しかった どちらかといえば楽しかった	100% 100%
子供たちと話したり、作り方を教えたりすることができた どちらかといえばできた	100% 100%
来年も協力したい ※努力しますを含む	100% 100%

☆子供たちから地域の方へ



<昔遊び>

- ・いろいろな遊びがあって楽しかったです。地域の方は、やさしかったのでまた来てほしいです。
- ・地域ふれあい活動で、久しぶりに、地域の人と、関わることでできてうれしかったです。最後に、竹とんぼをもらえてうれしかったです。楽しくできてよかったです。
- ・いろいろな遊びをして、楽しかったので、来年のしめ縄作りも、来てほしいと思います。
- ・私は、昔遊びはあまり知らないけれど、とても楽しい昔遊びができてうれしかったです。
- ・私が楽しかったのはゴム鉄砲です。自分で作るのは、難しかったです。また来てください。

＜しめ縄作り＞

- ・地域の方々のおかげで、とても楽しくしめ縄作りをすることができました。アドバイスをしてもらったり、いろんなことを話したりすることができてうれしかったし、何より地域の方や友達とさらに仲良くなることができました。思い出に残る楽しいしめ縄作り体験をありがとうございました。
- ・縄をなうときに簡単にできる方法を教えてくださったので、きれいにできました。きれいにできた時は、ほめてくれてうれしかったです。
- ・難しかったけれど、いい経験になってよかったです。みんなのために来てくださり、ありがとうございました。
- ・しめ縄づくりを教えていただきありがとうございました。去年はできなかったことも分かりやすく教えていただいたのでできるようになりました。去年よりもうまくなったこともうれしかったです。コツもつかめたので家でもやりたいと思いました。本当にありがとうございました。とても楽しく活動することができました。

	善地・上善地	善地・上善地	八幡団地
昔遊び			
しめ縄作り			

	八幡	永島	新堀・高菌・竜南
昔遊び			
しめ縄作り			



【東っ子のびのび応援隊】 R7 (R6) に活動して下さった人数

読み聞かせ(全学年).....	13 人 (8人) 月2
図書修繕等.....	5 人 (8人) 月1
草取り.....	12 人 (11人) 運動会前
家庭科.....	6 人 (4人) ミシン
図工.....	5 人 (11人) 刃物使用
生活科・社会科、総合(校外学習見守り) ..	23人 (15人) (2, 3, 4 年)
生活科(サツマイモ料理).....	8 人 (12人) 2 年
話&遊び&バドミントン.....	11 人 (9人)木曜日昼休み

<成果>

- ・読み聞かせは月に 2 回実施しているが、参加方法を月 2、月 1、学期1、年 1 と選択肢を広げたことで、ボランティアの人数を増やすことができた。
- ・読み手が多いことで、子供たちは、いろいろな人の感性に触れることができ、自分では読まない本を知ることができ、読書への興味を広げることにつながった。
- ・図書ボランティアが図書委員と話し合い、合同でイベントを開催した。子供たちは、図書室の環境を整えてくださるボランティアさんの存在を認識したり、委員だけでは思いつかないアイデアを知ったりすることにつながった。ボランティアさんも「子供たちと関わりをもてて楽しかった。」とっていて、お互いにとってよい時間となった。
- ・環境委員の活動や運動会前の草取りイベントに参加していただいたことで、道具の使い方を教えていただくことができ、安全に作業することができた。また、子供だけでは、取ることができない草も取ることができた。
- ・家庭科や図画工作科、生活科の指導を補助していただくことで、安全確保をすることができた。子供たちも分からないことがあったときにすぐに質問することができ、効率よく製作に臨むことができた。
- ・遊びランドでは、遊びの範囲を広げ、子供たちがのびのびと過ごすことができた。

<課題>

- ・登録はしていただいたが、実施できていないもの(生き方)がある。早い時期に計画を立て、実施できるように準備を進めていく必要がある。
- ・地域の方の居場所とするため、地域の方の参加の様子をCSだよりで伝え、参加者を増やしたい。

1 趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年 浜松市教育委員会規則第2号）第8条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2 評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3 評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

＜評価項目＞

（必須） ※全ての協議会で行う。

- 1 学校運営の基本方針について熟議することができたか。
- 2 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。
- 3 協議会の結果について、十分な情報発信を行ったか。
- 4 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

（参考） ※各協議会で追加する項目があれば設定する。

4 自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式1により、簡潔にとりまとめる。

5 評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、CS便りや学校のホームページ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6 評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式1を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア 様式1の活用

様式1は教育委員会教育総務課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ 評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附 則

この実施要項は、令和2年9月1日から施行する。

この実施要項は、令和5年4月1日から施行する。

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

<本年度の目標>

- ※ 前年度に協議会で協議した目標を記載する。
- ※ 目標が、会議体として相応しい目標となっているか、また、学校運営の基本方針に関わることを中心に据えられているか等を確認する。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目1をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ※ 参考資料【熟議チェックシート】の評価項目2をもとに、振り返る。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
- ※ 成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ※ 協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。
- ※ 委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ※ 委員個人の目標ではなく、協議会の目標を記載する。
- ※ 学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
- ★ 自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。

(様式2)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

委員名 ()

＜本年度の目標＞

物事に積極的に挑戦する中で他者（友達や地域の人など）と関わり、さらに自己表現ができる子に育つよう学校運営協議会としてできることを探る。

- ・ 自己肯定感を高める取り組みへの助言
- ・ 他者を思いやる心の育成対応への助言

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標



令和7年12月1日

浜松市立北浜東小学校

祝創立150周年



150周年記念学校コンサート

11月14日（金）北浜東小学校創立150周年を祝って学校コンサートをを行いました。

今回は、ピアノ奏者の池邊敬一郎さんとバイオリン奏者の山田香子さんをお招きして、生の演奏を聴かせていただきました。エルガーの「愛の挨拶」に始まり、途中、バイオリンやピアノの音の出し方について教えていただき、サブライズ企画では、演奏に合わせて校歌斉唱をする機会もありました。

ピアノとバイオリンの響きが見事に溶け合い、節目にふさわしい感動に満ちていました。繊細さと力強さが交差する演奏に心を揺さぶられ、歴史の重みと音楽の美しさを改めて感じる素晴らしい時間となりました。

150周年記念運動会大成功！

11月8日（土）に150周年記念運動会を実施しました。赤組と白組に分かれて競技をしたり、演技をしたりしました。子供たちが、応援の仕方を考えたり、ダンスの振り付けをしたりして子供たちが主体となった運動会を創り上げました。



それぞれのよさが輝く

150年記念として、新しい種目にも挑戦しました。1、2年生は、ダンス&玉入れ、3、4年生は、ソーラン&台風の目、5、6年生は綱引きとフラッグ。それぞれ学年らしいかわいらしさ、勇ましさ、しなやかさが発揮されました。



北浜東小150周年の歴史

明治	8年	7月	
	18年	3月	豊田郡上善地村学校設立 上善地村879
	19年	2月	豊田郡永島村学校設立 永島村1224
	22年	4月	上善地村が校は善地村新辻 1546 に新築
	29年	4月	竜池尋常小学校と改称 郡区変更
	43年	7月	竜池尋常高等小学校と改称 郡区変更
昭和	16年	4月	竜池国民学校と改称
	22年	4月	竜池国民学校と改称
	26年	4月	北浜市立北浜東小学校と改称
	31年	4月	北浜市立北浜東小学校と改称
	38年	7月	北浜市立北浜東小学校と改称
	40年	3月	鉄筋二階建て新校舎竣工
	44年	11月	体育館竣工
	50年	11月	開校百年式典ならびに記念運動会
	51年	3月	開校百年記念植樹、花壇完成
	58年	8月	南校舎耐震工事
	62年	3月	南校舎大規模改修工事
平成	63年	3月	屋内運動場増設工事
	5年	3月	プール移転改築工事
	17年	7月	市町村合併により浜松市立北浜東小学校と改称
	20年	10月	創立130周年記念式典開催
	22年	11月	学校体育優良校（文科省表彰）
	22年	11月	FBC県知事賞受賞
	25年	8月	北校舎内装修繕工事
	25年	9月	北校舎太陽光発電所設置工事
	25年	10月	南校舎外装修繕工事
	27年	3月	放課後児童会学校敷地内へ新設整備
令和	27年	9月	創立140周年
	元年	3月	普通教室空調機器設置
	3年	1月	駐車場門改修工事
	6年	8月	区画の再編により浜北区から浜名区へ
	7年	11月	体育館小規模改修（屋根・外壁等）工事
			創立150周年記念朝会、コンサート開催

キャラクター紹介

いちごまる



令和6年度卒業生の長谷川美咲さんのアイディアです。150をいちごまると読みます。かわいキヤラクターです。

キャラクター紹介

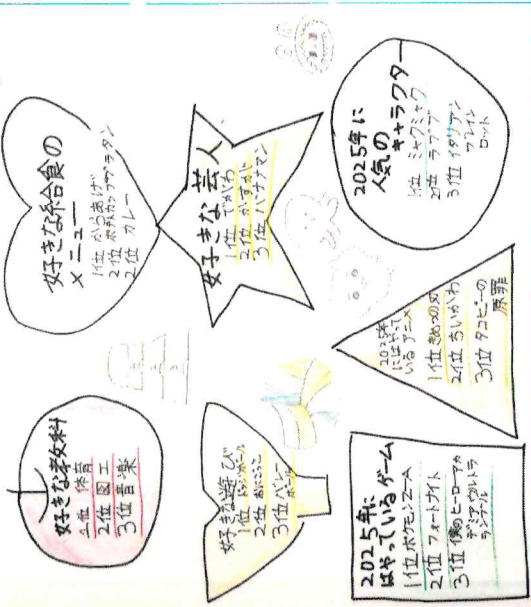
夢・望・元氣



令和7年度6年生平野結衣さんのアイディアです。東小のシンボル、3本のイチヨウの木をモチーフにしました。

令和7年(2025)

北浜東小学校4年2組
いろいろランキング



未来の北浜東小の子どもたちへ

北浜東小のよいところ!!

1. 仲間はずれにやらない
2. 皆元気
3. 5.6年生が優しい
4. ふれ合いの森が自然豊かな
5. 3年の名前が銀杏の木

北浜東小の学校教育目標は「自覚に向かい、自ら学び、自ら表現し、自ら達成する」ように、いつも皆が前向きに楽しく勉強している。それと、先生が優しく、学校生活を送っている。そんな学校で、いいと思ってる。



2025年(令和7年度)

縦割り16班

未来の北浜東小の子どもたちへ

北浜東小のいいところ!

1. 一人一人がやさしい
2. いちしょうの木が大事にされている
3. みんなで楽しく笑ってすごせる

みんなで「笑ってすごせる」ために、挑戦しています。いちしょうの木が、楽しい学校なので、これから、楽しい学校でいてほしいと思います。



2025年(令和7年)縦割り11班

令和7年度 北浜東小学校児童 から未来の東っ子へ

